

イギリス 19世紀から現在に至るまでの同性愛者をめぐる時代の変遷

1533年

イングランド王ヘンリー8世の時代、イングランド及びウェールズにおいて「バガリー」を禁じる法が制定。バガリーとは元々は神の意思に背いた不自然な性行為を指したが、後に肛門性交のことを言うようになった（男女問わず）。1861年までは有罪の場合、死刑が宣告された

1885年

「品位に欠けるみだらな行為」（grossindecenty）を禁じる条項が追加。男性同士の性行為が違法に

1895年

オスカー・ワイルドが「品位に欠けるみだらな行為」を行ったとして2年の懲役刑を科される

1957年

ウォルフェンデン委員会が軍人以外の21歳以上で合意ある成人同士の同性愛行為を非犯罪化するよう提言

1967年

第三者がいると思われる場所を除き、同性愛行為が非犯罪化。性的同意年齢は21歳（異性愛及びレズビアンは16歳）

1969年6月

米ニューヨークのゲイ・バー、ストーンウォール・インへの警官による踏み込み捜査が、5日間にわたる暴動へと発展。同性愛者の権利を求める運動の象徴的イベントとして知られるようになる。ゲイ解放戦線（GLF）がニューヨークで設立

1970年

ロンドン・ゲイ解放戦線（ロンドンGLF）が設立

1972年7月

「性的少数者の文化を称える「プライド」パレードの第1回がロンドンで開催。参加者は約700人

1980年

スコットランドで同性愛行為が非犯罪化（条件は1967年と同様）

1982年

欧州人権裁判所の判断に基づき、北アイルランドでも同性愛行為が非犯罪化

1994年

同性愛の男性の性的同意年齢が18歳に

2000年1月

同性愛者の軍隊勤務を禁じる規則が廃止

2001年1月

「上院における3回にわたる否決ののち、労働党政権が同性愛の男性の性的同意年齢を16歳に引き下げ

2005年12月5日

同性愛カップルに結婚とほぼ同等の権利を与える2004年シビル・パートナーシップ法が施行

2005年12月30日

「同性愛カップルが養子を迎え、共同親権を持つことが可能に

2009年9月10日

ブラウン首相（当時）が同性愛者だったアラン・チューリングに対して、刑務所への収監と引き換えにホルモン療法を施したことを正式に謝罪

2013年12月

エリザベス女王がアラン・チューリングに死後恩赦を与える

2014年3月29日

イングランド及びウェールズで同性間の結婚が可能になる2013年結婚（同性カップル）法が施行

2014年12月16日

スコットランドで同性間の結婚が可能になる2014年結婚及びシビル・パートナーシップ（スコットランド）法が施行

2017年1月31日

イングランド及びウェールズにおいて、過去に同性愛行為で有罪になり亡くなった人々が赦免された。また、有罪となり生存している人たちは、内務省に届け出ることによって記録が抹消される。通称「アラン・チューリング法」